



# 学校だより 9月

令和3年9月1日 横浜市立芹が谷南小学校

## アスリートの言葉 ～自信と感謝～

学校長 高木 篤子

暑い熱い夏、東京2020オリンピックが7月23日に開会し、8月8日に閉会しました。画面に映る選手の姿や表情、そしてインタビュー等の言葉に心を動かされたり、励まされたりすることはありましたか。私は、想像以上の努力を重ね、自分を信じて競技に臨む選手の思いが次のような言葉から伝わりました。

「思い切って、自分を信じて泳ぐことができました。」

「自分自身の力に自信をもつことができました。」

「とれる自信まんまんで、金しかねらっていませんでした。」

「自分としては、信じたことをやるしかなく、重荷にはなりませんでした。」

「自信をもって前に進んでいきたい。全部の試合、自信をもって戦えました。」

「自分を信じられたことがいちばんよかった。」

合わせて、これまで自分を支えてくれた人々へ心から感謝の気持ちを伝えていることも、印象に残りました。

「本当にうれしいですけど、それ以上に感謝の気持ちがたくさんあります。」

「ここに来るまで、本当にたくさんの方々のおかげがあつてたどり着くことができました。」

「コロナ禍でたくさんの方が練習してくれたり、助けてくれたり、サポートしてくれて今日の試合があつた。本当に感謝の気持ちでいっぱい。」

「何度も何度も逃げ出したくなつた。でも、そのたびに前を向かせてくれる人たちがいてくれたので、走り切ることができました。」

「自分一人ではこの舞台に立つことはできなかつたので、今はすべてに感謝したい。」

8月24日から始まり、現在開催中の東京2020パラリンピックにおいても、それぞれの力を生かしてチャレンジをする選手の姿は、私たちに自分の力を信じて進む勇気を与えてくれます。

アスリートの方々がこれまでの汗と努力で培った力を信じて挑む姿勢、自分を支えてくれている人々への感謝の気持ちを、感動と共に受け止めて学びたいと思います。

